



# GPIFの最近の取り組み

年金積立金管理運用独立行政法人

高橋則広





# GPIF最近の取組み

## ～ ESG・SDGsに対する多面的な取組み

### 1. グローバル環境指数の選定と投資

- ・ 気候変動を中心とした環境問題については、重要なESG課題かつ国境を越えたグローバルの問題であると考えており、環境株式指数の公募を実施
- ・ 業種内で、炭素効率性が高く、温室効果ガスの情報開示を行っている企業の構成比率を高める指数を採用



### 3. 各種団体への積極的な参加・サポート

- ・ 環境・女性活躍に関する各種コミッションへ参画
- ・ 運用会社と投資先企業との間での、ESGを考慮に入れた建設的な対話を促進



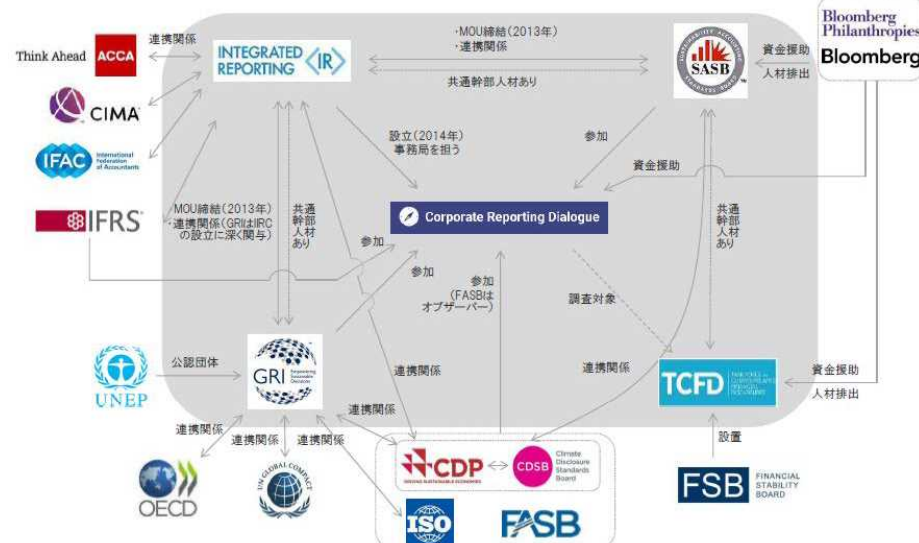
### 2. グリーンボンドへの投資

- ・ 世界銀行グループとの共同研究を踏まえ、世界銀行はGPIFの運用機関に対してグリーン・ソーシャル・サステナブルボンドを提案し、GPIFの運用受託機関は5億ドル以上の投資を開始



### 4. ESG情報開示についての委託調査研究

- ・ ESG情報開示の流れが強まる中、様々な基準・策定団体が存在



# 最近のESGの取組み ～ 企業アンケート

## 1. 実施目的とアンケート対象企業



- 運用受託機関のステュワードシップ活動に関する評価と「目的を持った対話」の実態把握
- ステュワードシップ・コード改訂以降の変化の把握
- 対象 : 東証1部上場企業 (2,129社)
- 回答社数 : 604社 (28.4%)

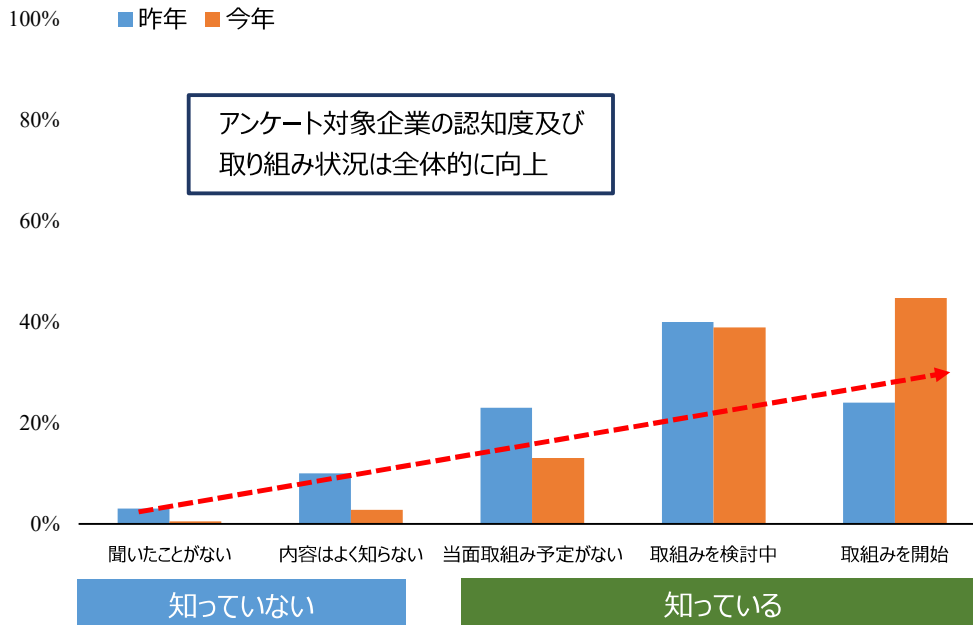


## 2. SDGsに関する事項



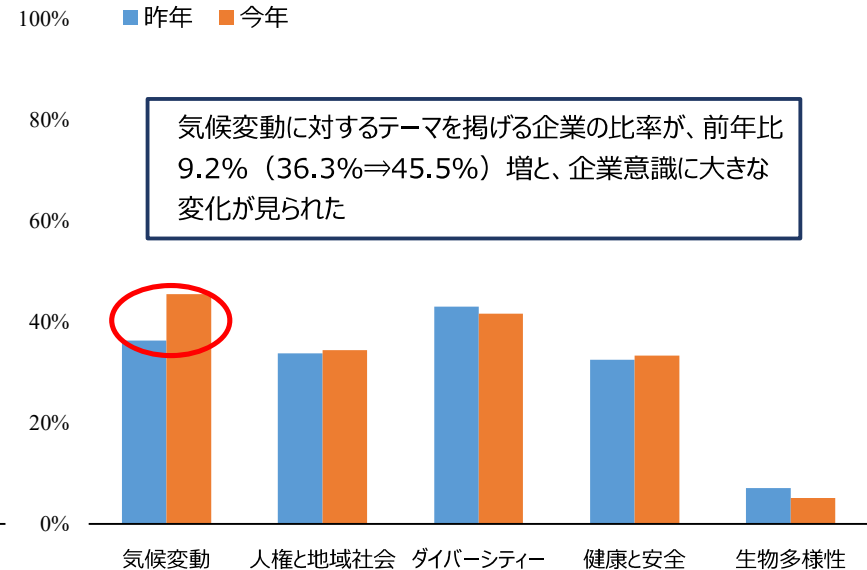
- SDGsの認知度及び取組み姿勢は昨年度よりも向上
- 95%以上が認知 (昨年は80%) しており、取組みを行っている企業は約半数に上っている

【 SDGs認知度や取組み姿勢 】



アンケート対象企業の認知度及び取組み状況は全体的に向上

【 対象企業のESG活動における主要テーマ 】



気候変動に対するテーマを掲げる企業の比率が、前年比9.2% (36.3%⇒45.5%) 増と、企業意識に大きな変化が見られた

(参考)

# PRI (責任投資原則) とSDGs (持続可能な開発目標)

## 社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む



(出所) 国連等よりGPIF作成